

カナダにログハウス・メーカーを尋ねて

取材協力：Sperlich Log Construction Inc.

1837 Shuswap Ave. Lumby BC,

2012年12月27日取材

カナダ、ブリティッシュ・コロンビア州のカムループス市近郊にはカナダ屈指のログハウス・メーカーがいくつも点在する。今回、我々が訪ねたのはこのエリア最大のログハウス・メーカーの「スパーリック・ログ」である。その規模は我々の想像を遥かに超えていた。まず7棟のログハウスを一度に組上げる事が可能な140ft × 225ft (42m × 67.5m) の屋根付き作業所と大量な巨大材木を一気に乾燥することの事が出来るフィンランド製の木材乾燥機を2台所有し、カナダ国内はもちろんの事、日本・ドイツ・オーストリア・ロシア・ポーランド・イタリアなどにも輸出している。なぜこの時期（真冬）に訪問するのかと思われるかも知れないが、成長の激しい夏には木を伐採しないためである。今回の旅の目的は、あえて凍えるようなこの時期に森に入り、ログ材となる丸太を厳選し、吹雪も諸共せず丸太を刻むログ・ビルダーの姿を求める事であった。屋根の無い作業場しか持たないログ・ハウス・メーカーは雪の積もるこの地域では冬場の作業は出来ず、休業を已む無く強いられるところも少なくない。「100本に1本しか納得のゆくログ材にはお目にかかれない」と年配のログ・ビルダーはつぶやき、また森に入っていった。まさに彼らは森と共に生きている・・・。



<大型クレーンを備えた屋根付き作業所 (42m × 67.5m)>



<切り出したログ材の原木を山から運ぶ大型ダンプ・トラック>



<ウエスタン・レッド・シダーの原木が加工現場に運び入れられる>



<ログハウスに使用されるウエスタン・レッド・シダー材>



<ログ材の原木を皮むき機に入れる大型クレーン車両>



<大量のログ材を一機に乾燥させるフィンランド製乾燥機 乾燥期間1～2週間>



<使用されるログ材を選別する大型重機>



<ドイツ向け商品の仮組み風景>



<ログ材を縦に切断するログ・ビルダー>



<ログ材にヤスリをかけるビルダー>



<ログ・スペックどおりに寸法を入れるビルダー>



<右から Darcy・John・Desmond>

本日は12月27日のBoxing Day weekであったため、3名のビルダーしか作業をしていなかったが、冬場でも7～8名のビルダーが常時働いているという。(夏場は20名)

「ログ・ビルダーにとっても、ログハウスに住むという事は永遠の夢なんだ。子供を持ち、シュワップ湖の見える丘の上につか自分の家を建てることを夢に描いて、今はお客さんに喜んでもらえるログハウスを建てている」と語る。そして「我々が住むこの豊かな森で育った木が世界中のログ・ハウス・オーナー達に住んでもらい、この森の暖かさを感じて欲しい」と彼は付け足した。正に本物のログハウス・ビルダー魂を感じた。

<Hot News>

平成25年の春、カインズ軽井沢店東3軒隣り、国道18号線沿いに、彼ら(Sperlich Log Construction Inc.)が作ったログハウス(ポスト&ビーム)の喫茶店をオープンします。名前は“Puddy’s Café”(パディーズ・カフェ)将来的にはドッグ・ランを併設したDog’s Caféを目指したいと思っております。

また、ログハウスに興味がある方も是非お立寄り下さい。ログハウスについて熱く語り合いましょう。軽井沢の地元を熟知したログハウス・メーカーもご希望の方にはご紹介いたします。

株式会社エステート軽井沢
代表取締役：木村 宏章